

労福協 NEWS

2018.1 No.87

希望の持てる社会の実現に向けて・・・

Hope is a Wish for Something to Come True by Action Each Other.

希望学から私が知った一番大事な事実とは、

よくわからないものにチャレンジすることを応援してくれる人が、

まだまだ日本にはたくさんいるということだったかもしれません。

希望をつくるには、応援も必要です。

誰のことも応援しようとせず、

応援だけはしてもらいたいというのは、無理な話です。

自分も誰かを応援することが、応援を得ることにつながります。

希望づくりを互いに応援する関係があるところにこそ、

希望の時代は開けるのだと、私は今、思っています。



副題：2017.11.6

平成29年度徳島県子どもの未来応援コーディネーター養成基本研修

東京大学社会科学研究所教授 玄田有史氏

「希望学から考える生きる力の育て方～つながりが子どもを育てる～」より

本文：玄田有史著『希望のつくり方』、岩波書店 2010年、221-222ページより

写真：県民と働く者のとくしまフェスタ 2017 & 2017.10.21 徳島ファミサポ「ハロウィン交流会」より

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、労働者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労福協

労働者福祉運動の再認識と前進・拡大を図ろう



徳島県労働者福祉協議会

会長 川越敏良

新春のお歓びを申し上げますと共に、皆様方にとってこの一年が希望に満ち、未来への確かな一年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年中は、徳島県労働者福祉協議会の運動と事業運営・組織運営にご理解をいただき、ご支援ご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

昨年の流行語大賞に「忖度」が選ばれたように、安倍自民党政権の絶対多数を背景に、メディアを含め社会全体が政権に阿る流れの中で、労働者福祉運動全体がその地盤低下を余儀なくされています。

昨年度の労福協の取り組みを振りかえるとき、このような動きを背景に、運動と事業推進の新たな段階の準備の一年であったと考えています。

運動面では、社会情勢や労組役員の若年化、また、労働者福祉事業団体の規制緩和などによって、労働者福祉事業の理念や役割の継承が困難になってきている現状に鑑み、セミナーの準備を進めており、日々開催できる運びとなっています。是非各団体の新人などの研修の場として活用をいただきたいと思います。

事業運営では、地域サポートステーション事業に一般競争入札制度が導入され、また、生活困窮者自立支援事業は3年目の見直し議論が中央段階で進められるなど、新たな展開への動きが現れており、これらの情勢に対応して、しっかりと実績を積み上げてくる中で、その地歩を固めてきたと自負をいたしております。

組織運営については、職員からの役員登用をお

こない、常務理事として、事務所が分散しているパーソナルサポート事業の連携やサポステ事業との連携を図る体制としながら、各事業の拡充に努めてきました。

今年は、このような昨年の取り組みの上に立って、各事業を労福協事業として定着させ、これを担い、拡充させていくことが求められていると考えています。

そのためには、①行政との連携を深めると共に、官民を問わず、地域資源活用の立場から、ネットワーク作りと相互活用を図る、②労福協事業を担う職員の資質向上を目指して、自己研鑽と研修の強化を図ることが求められています。

これらの取り組みは、労福協単独では為し得ないところであります、会員団体をはじめ、協力団体の皆様のご理解とご支援を切にお願いする次第です。

労福協は、引き続き労働福祉事業団体の要としての役目をしっかりと果たし、労働者福祉事業の発展と拡大に邁進していく決意を申し上げ、ごあいさついたします。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

2017年度徳島県労働者福祉協議会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	川越敏良	徳島県労働者福祉協議会
副会長	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
〃	藤岡一雄	全労済徳島推進本部
〃	寺西稔	四国労働金庫
専務理事	林善章	徳島県労働者福祉協議会
常務理事	兼松文子	徳島県労働者福祉協議会
理事	久積育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	福本純	徳島県労働福祉会館
〃	大地均	全徳島建設労働組合
〃	梶原樹	徳島県生活協同組合連合会
〃	山藤正義	徳島県退職者連合
〃	瀧誠司	うずしお法律事務所
〃	境泉洋	徳島大学
監事	奥田浩次	四国労働金庫
〃	藤原茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
〃	豊田浩	全労済徳島推進本部

連合

新年のごあいさつ



日本労働組合総連合会徳島県連合会

会長 森本 佳広

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそいで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中における連合徳島の運動に対しましての格別のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、政府が提唱し、私たち労働団体も期待していました「働き方改革」が、3月28日に「実行計画」が示され、9月には、労働政策審議会の審議を経て労働基準法の改正法案要綱が決定されました。

連合は、この労政審の審議の中で、残業代ゼロ制度と言われている高度プロフェッショナル制度や企画業務型の裁量労働制の不必要な拡大などについては法律案から外すように要請をしてきました。しかし、労働基準法始まって以来、70年の歴史の中で、初めて罰則付きで実質的な労働時間の上限規制を明記する改正など労働者にとって大変重要な項目も含まれていることから、前述した2点など労働者にとって不必要的改正部分については削除するよう意見を付した上で、「大筋で賛成」という審議会の結論を受け止めてきたところです。

働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するためには、労働政策審議会での議論や国会での法案内容の審議過程も重要ですが、なんといっても実際の現場に最も近い職場や地域から「働き方」「働きかせ方」の見直しを現状の法律の範囲でも不斷に進めることが重要です。

私たち連合が中心となって進めていく2018春季生活闘争は、昨年に引き続き労使の知恵と努力を結集して「経済の自律的な成長」「社会の持続性」を実現するために、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続し、社会保障と税の一体改革の実現で将来不安を払拭し、さらに広がりを持たせるためのたたかいです。

同時に、連合ならではの春闘期の取り組みと組織

拡大の営みを連動させ、労働組合の良さ、労使関係の大切さをあまねく広げていかねばならないと考えています。

連合が提唱する「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、一人ひとりが自らの雇用や生活と政治・政策とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンをはじめ、地域活性化を促す「地域元気フォーラム」の継続的な開催など「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を広げるべく、お互いに努力を重ねていくことが重要であると考えます。

結びに、今年1年が皆様方にとりましてよき年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合の運動に対する皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、私のあいさつにさせていただきます。

〈連合徳島2018～2019年度役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	森本 佳広	自治労
会長代行	新居 栄治	電機連合
副会長	大谷 竹人	自治労
〃	田村 敬一	J P 労組
〃	鎌谷 浩司	電力総連
〃	矢鳴 浩一	UAゼンセン
〃	尾関 定	自動車総連
〃	松本 光弘	自治労(県職労)
〃	川口 誠二	情報労連(民間大手部会)
〃	宮本 武司	交通労連(民間中小部会)
〃	吉野 泰甲	全水道(官公労部会)
〃	藤田 晶子	UAゼンセン(女性委員会)
事務局長	島 和久	電力総連
副事務局長	山本 雅敏	交通労連
〃	片岡 可恭	自治労
財政局長	小谷 正勝	J A M
中小労働対策本部長	原田 俊彦	全国一般
執行委員	山田 雄作	農協労連
〃	合田 泰弘	運輸労連
〃	井内 貴志	J R 連合
〃	松本 忠宏	私鉄総連
〃	鎌田 耕一郎	基幹労連
〃	石橋 元	J E C 連合
〃	小栗 穂	国公総連
〃	小原 伸二	県教組
〃	三木 裕子	全国一般(女性委員会)
会計監査	田村 貴之	四国労金労組
〃	刀瀬 康太	全労済労組
〃	水元 雄大	政労連

ろうきん

新年のご挨拶「金融包摶」



四国労働金庫

理事長 小川 俊

新年あけましておめでとうございます。

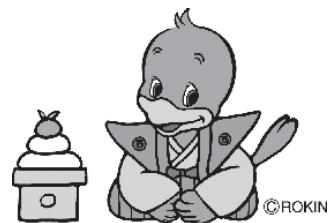
皆様方には、ご家族と共に新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますと共に、今年が幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。

金融業界では日銀のマイナス金利政策の長期化により収益が大幅に低下し、メガバンクの人員削減・店舗縮小がマスコミ報道を賑わしています。このような状況下では特に、金融取引から排除される弱者（中小企業・勤労者）が増加することが懸念されています。

「四国ろうきん」を取り巻く環境も同様ではあります、私達は銀行とちがい「会員組織の金融機関」「働く仲間が作った福祉金融機関」であり、「ろうきん理念」のもと金融取引から排除される勤労者があつてはならないとの想いで「金融包摶」と言う言葉を前面に出し「第7期中期経営計画」を策定・実現して、この難局を乗り切ってまいります。

今年も役職員一同、働く人達の金融面での生活応援組織である「四国ろうきん」の役割を肝に銘じ仕事をしてまいります。

より一層のご理解とご協力を願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



©ROKIN

【徳島地区選出理事・監事】

副理事長	河村和男	(パナソニックヘルスケア労働組合四国支部)
専務理事	住友誠教	(員外)
常務理事	大西和彦	(員外)
理事	田村敬一	(JP労組徳島西支部)
理事	川口誠二	(情報産業労働組合連合会徳島県協議会)
理事	大谷竹人	(自治労徳島県本部)
監事	尾関定	(ジェイテクト労働組合徳島支部)

【徳島営業本部・営業店】

本部長	寺 西 稔	副本部長	高 来 徹
徳島支店長	遠藤好人	池田支店長	小 谷 博 文
徳島北支店長	山 本 真 史	阿南支店長	今 治 五百合
鴨島支店長	西 英 二	徳島LC所長	佐々木 美 紀
徳島北LC所長	太田越 貴久		※LC=ローンセンター

全 労 濟

創立60年、生活の安心に 「なくてはならない」存在を めざします



全労済徳島推進本部（徳島県共済生協）

本部長（理事長） 藤岡 一雄

新年おめでとうございます。

本年が皆さまにとって希望に満ちた幸せ多い年になるよう願います。

さて、私たち全労済徳島推進本部は、1月19日に創立60周年を迎えます。振り返りますと、この60年の歩みは、私たちがずっと希望をつなぐ存在であり続けるための努力の道のりでした。創立当初に火災共済から出発した事業は、「住まいの保障」「ひとの保障」「くるまの保障」へと拡充し、いまや20余の共済を提供できるまでに成長・発展を遂げることができました。この共済事業と運動を通じて、組合員の方々の、かけがえのない生活を守り続けてきました。

1980年、生活保障設計運動をスタートさせました。今の保障で足りているかな？ムダはないかな？という漠然とした将来の暮らしへの不安を、公的保障やライフプランをベースに必要な保障を設計し、的確に備えることで安心に変えるお手伝

いをしたいと願うからです。

1995年1月17日、阪神・淡路大震災の発生。共済金・見舞金の支払総額は185億円にのぼりました。自然災害に対する生活再建への備えは自助努力だけでは到底貯めるものではありません。全労済は、国からの支援が必要だと考え、約2,500万人の署名を集め、「被災者生活再建支援法」成立に大きな役割を果たすことができました。また、阪神・淡路大震災をきっかけとして、自然災害共済の制度を実施しました。

2011年3月11日、東日本大震災が発生。共済金・見舞金の支払総額は、1,276億円余りとなり、被災された組合員への対応は「最後のおひとりまで」としてきました。2016年4月14日および16日、熊本地震が発生。共済金・見舞金の支払総額は、約135億円となっています。このような自然災害への備えが大切とわかってはいても、日頃はなかなか難しいのが「家族で一緒に防災について考える時間」です。なるべくわかりやすく、楽しく、見たり聞いたり体験したりしながら、防災について家族で学び、備えを見直す機会をつくれたらとの思いで、内閣府が国民の防災意識向上を目的に推進している「ほしいカフェ」にも取り組んでいます。

2016年に「協同組合」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。私たち全労済は、共済事業を軸に、組合員・生活者への「お役立ち」発想と組織・団体との「共創」活動で、取り巻く環境が厳しくなる中で、安心を提供するとともに、社会にとって「なくてはならない存在」をめざします。

今年も引き続き皆さまのご支援をいただけるようお願いします。

〈2017年度全労済徳島推進本部 役員体制〉

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
本部長	藤岡 一雄	全労済徳島推進本部	代表委員	鎌田 耕一郎	新日本電工労働組合徳島支部
副本部長	新居 良雄	全徳島建設労働組合(フレッセ)	代表委員	新居 栄治	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
事務局長	豊田 浩	全労済徳島推進本部	代表委員	磯田 稔	四国化成徳島労働組合
代表委員	松永 勉	東邦テナックス労働組合徳島支部	代表委員	松本 光弘	徳島県職員連合労働組合
代表委員	宮本 武司	四国高速運輸労働組合	代表委員	東條 光洋	徳島県教職員団体連合会
代表委員	尾関 定	ジェイテクト労働組合徳島支部	代表委員	田北 直樹	徳島県高等学校教職員組合
代表委員	益田 英明	日清紡労働組合徳島支部	代表委員	亀田 真	徳島市交通労働組合
代表委員	鎌谷 浩司	四国電力労働組合徳島県本部	代表委員	森井 郁男	小松島市職員組合
代表委員	岩生 大治	徳島バス労働組合	代表委員	梶原 樹	生活協同組合とくしま生協
代表委員	山田 知弘	徳島県公立学校教職員組合	代表委員	合田 泰弘	全日通労働組合四国支部徳島地域協議会
代表委員	三木 裕子	全国一般徳島地方労働組合	代表委員	好野 祐司	徳島市役所職員労働組合連合会
代表委員	鈴木 圭吾	三好市職員労働組合連合会			

勤労者福祉ネットワーク**2018年ごあいさつ**

(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク

理事長 久積育郎

新年あけましておめでとうございます。
皆様には新たな希望を持って新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当財団の諸事業に対し、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当財団は設立20年を経て“これから10年”へ向け、働く者と家族のそれぞれのライフステージに対応し、“いつでも、どこでも、だれでも”が利用できる勤労者の総合福祉推進をめざし、着実に歩むことができました。ここに改めて深く感謝を申し上げます。

さて、当財団にとって2018年度の重点課題は、

- (1) あわへず徳島の全県広域化の早期実現と更なる事業拡充、並びに第7回となる会員交流会の開催
- (2) ファミリー・サポート・センター事業の第2ステージとして、板野東部・徳島ファミサポにつづく、病児・病後児預かりの全県での実施
- (3) “結婚したい”をサポートする県民運動として、マリッサとくしま(とくしまマリッジサポートセンター)の更なる事業拡大

((公財) 徳島県勤労者福祉ネットワーク役員)

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
理事長	久積育郎	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	理事	脇田亮	徳島県商工会連合会・専務理事
副理事長	柿内慎市	徳島県経営者協会・会長	/	寺西稔	四国労働金庫徳島県本部・本部長
/	川越敏良	(公社)徳島県労働者福祉協議会・会長	/	藤岡一雄	全労済徳島推進本部・本部長
/	朝日隆之	徳島県商工労働観光部・部長	/	喜多條雅子	NPO法人Creer・理事長
専務理事	杉本友好	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	/	加渡いづみ	四国大学短期大学部・教授
常務理事	川原佳子	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	監事	武田勝行	武田勝行税吏事務所・税理士
理事	小泉吉太郎	徳島県市長会・事務局長	/	蔭山眞應	徳島県中小企業団体中央会・専務理事
/	三宅祥壽	徳島県町村会・常務理事	/	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会・会長
/	石井一	徳島県商工会議所連合会・専務理事			

労働福祉会館



謹賀新年

労働福祉会館理事長

藤原 学

皆様方には、つつがなく新しい年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

わーくぴあ徳島は、皆様方のお陰を持ちまして、本年で設立47年を迎えることができました。

この間、社会的な課題を取り上げた公開講座、子ども食堂の活動、障がいのある人の働く職場づくりを進めるクレエールやフードバンクとくしまなどのNPO、公益社団、一般社団が入居することで、お年寄りから子どもたちまで幅広く親しまれ、文字通り県民に開かれたわーくぴあ徳島として活用されております。

また、わーくぴあ徳島では、将来の方向性を検討する「将来の新館建設を展望した検討委員会」を設置し、昨年4月「中間まとめ」を確認しました。「中間まとめ」は、①「県内勤労者、県民の新たなセンターの建設を基本として、具体的に構想を検討する」②「新館建設へ向けて態勢を

整えるため、法人統合を基本に検討する」③「関係団体は、①②に関する検討を開始する」の三点で現在本答申に向けて専門家(弁護士・税理士)からの意見をまとめる作業に入っているところであります。

更に、公益目的支出事業としての「社会運動資料センター事業」は、公開講座の開催、社会運動や労働運動、部落解放運動等に関する資料、団塊世代が持つ貴重な書籍・資料等後世の運動の参考とすることを目的に収集活動を進めています。今後とも、ご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとってより良き一年でありますことをお祈り申し上げ、年頭にあたりましてのご挨拶いたします。

2017年度徳島県労働福祉会館役員一覧

役職名	氏名	現在の所属
理事長	藤原 学	徳島県労働福祉会館
副理事長	久積育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
常務理事	福本純	徳島県労働福祉会館
理事	川越敏良	徳島県労働者福祉協議会
〃	藤岡一雄	全労済徳島推進本部
〃	寺西稔	四国労働金庫
〃	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
監事	豊田浩	全労済徳島推進本部
〃	奥田浩次	四国労働金庫

フレッセ



2018年 年頭のご挨拶

フレッセ執行委員長

大地 均

新年明けましておめでとうございます。日頃はフレッセの諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは一般勤労者に比べて不十分な福利厚生面を補うために、国民健康保険や労働保険、組合共済などを中心として、建設に従事する仲間の仕事と生活を守る取り組みを進めてきました。

また、住環境の改善や、地域経済の活性化にもつながる「リフォーム助成制度」の創設や拡充、低い賃金水準の下支えとなる公契約条例の制定に向けた取り組みを進めています。

一昨年の熊本地震は、これまでの南海トラフを震源とする南海地震のみならず、中央構造線を中心とする直下型地震の脅威を想起させました。県民の命を守るために住

宅の耐震化は、待ったなしの状況です。

組合でも耐震シェルターの普及や耐震改修を通じて貢献していきます。

組合や仲間を取り巻く状況は、依然きびしく、慢性的な後継者不足、都市と地方の格差の拡大、建設従事者の高齢化等々、乗り越えなければならないことは山積みです。

これまでに培つてきた仲間からの信頼と支持のもと、県内で働く建設労働者・職人の仕事と生活を守るための取り組みを進めていきます。

今後ともフレッセの活動に対しまして、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

役職名	氏名
執行委員長	大地均
副執行委員長	中山邦正
〃	向井行雄
書記長	新居良雄
財政部長	賀治隆志
執行委員	中敏昭
〃	秋山威
〃	相原隆
〃	坂本健作
〃	井原弘
〃	長谷部尊之
〃	白土義信
〃	楠野進
〃	外山康雄
〃	大溝典幸
〃	住友寛
〃	西野慶憲
〃	田中順二
〃	藤本順二
青年部長	平田孝夫
会計監査	山崎達雄
〃	伊藤好威
〃	多田勲

徳島県生活協同組合連合会



2018年迎春のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会
会長 多田道代

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望と共に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、私ども連合会に多大なご支援ご協力を賜りありがとうございます。

昨年もさまざまなニュースが飛び交い、あつという間の一年だったように思いますが、ひときわ記憶に刻まれた出来事は、突然の衆議院解散総選挙だったのではないかでしょうか。小池氏率いる希望の党出現から少しは政権交代も垣間見えましたが、終わってみれば、与党圧勝、過半数、内閣も変わることなく、ただ与党を勢いづけお墨付きを与えた結果となりました。その後、米大統領トランプ氏の来日もあり、米国の傘下で今後も改憲路線を走ろうとしている安倍政権に不安を覚える国民は少なくないと思われます。

昨年7月に、国連総会において採択された核兵

器禁止条約に日本は不参加、また、条約制定に貢献した、国際NGOネットワーク「ICAN」のノーベル平和賞決定への反応も複雑になっていると言われています。

いずれにしても、私たち消費者が、国民が声を上げ続けなければ議論にもなりません。日々の暮らし、地域社会の安寧が引いては平和な世界への道しるべとなることを願い、今年も活動して参ります。

皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念するとともに、当連合会へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

役職名	氏名	所属単協名
会長	多田道代	生活協同組合とくしま生協
副会長	藤岡一雄	徳島県共済生活協同組合
専務理事	梶原樹	生活協同組合とくしま生協
理事	木津正憲	徳島県学校生活協同組合
理事	豊田浩	徳島県共済生活協同組合
理事	山本浩史	徳島健康生活協同組合
理事	松田大亮	徳島健康生活協同組合
理事	八木史仁	生活協同組合コープ自然派しづく
理事	鳥養美文	徳島県職員生活協同組合
理事	高橋敬司	徳島大学生活協同組合
理事	細川尚光	生活協同組合とくしま生協
監事	吉野才治	徳島健康生活協同組合
監事	宮本久恵	生活協同組合コープ自然派しづく
監事	長尾文明	徳島大学生活協同組合

徳島県退職者連合



新年のごあいさつ

徳島県退職者連合
会長 小笠原 幸雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、退職者連合の活動に対し、格別のご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

新しい年に当たり、当面の活動方針を紹介させていただき、ご挨拶と致します。

全国で84万人を擁する日本退職者連合は、昨年7月定期総会を開催し、向こう1年間の運動方針を決定しました。

その方針の中心は、社会保障の整備です。

このところ高齢者を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しています。

65歳以上の高齢率は、全国では27パーセントで、県としては32パーセントをオーバーしており、3人に1人が高齢者となります。

更に中山間地が多いため、幾つかの集落が消えており、市町村や民生委員、社協、自治会、NPO等、ボランティアの活動に援助されて生活しているのが実態です。

また人口の高齢化が進めば、年金、医療、介護などの費用がかさむのは当然です。

2018年度の社会保障費は、医療、介護などを削減する方向で検討されており、年金支給額を抑制する「年金改革法案」は衆議院の審議で強行採決により成立されました。

高齢者に対する年金支給額の削減は、高齢者の生活破壊を招きかねず、慎重な扱いを期待します。

本年も、労働者福祉協議会の活動が益々発展されるよう祈念すると共に、私たちの活動に対し、ご支援、ご協力を賜りますようお願いし、新年のごあいさつと致します。

〈徳島県退職者連合役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	小笠原幸雄	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
副会長	宮本剛	UAゼンセン友の会徳島県支部
〃	瀧谷良臣	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	近藤啓治	日本郵政グループ労働組合徳島県連絡協議会
〃	八木由利子	全日本自治体退職者会徳島県本部
事務局長	山藤正義	林野関連退職者の会徳島県支部
事務局次長	坂尾直也	徳島県労働金庫退職者の会
幹事	福井英利	徳島県退職教職員協議会
〃	四宮通治	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	坂本忠成	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
〃	松本隆之	たばこ退職者の会徳島地区連絡会
〃	青山紘一	徳島バス労働組合退職者会
〃	国見聖	徳島造船退職者の会
〃	鏡和博	農林水産省徳島退職会協議会
〃	有瀬政明	全国山林労働組合徳島県本部退職者会
〃	平岡重利	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	児島等	徳島県農協労連退職者会
会計監査	橋本保子	徳島県退職教職員協議会
〃	富田真由美	徳島県退職女性教職員の会

NPO法人 德島労働安全衛生センター



新年のごあいさつ

NPO法人
徳島労働安全衛生センター

理事長 新居 良雄

2018年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、NPO法人徳島労働安全衛生センターの活動に対し深いご理解とご支援を賜り誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

当センターは労働災害や職業病を未然に防止するため、労働者の安全と健康に関する調査、相談、教育、啓発事業、衛生管理者の育成等々の活動を展開しています。

全国の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、2016年の休業4日以上の死傷者は117,910人で、このうち928人の尊い命が失われました。特に第3次産業の死傷者が年々増加しており、全体の46%を占めています。

これらの背景には、労働人口の高齢化、急速な世代交代の進行による現場力の低下、若年層の危険認識の希薄化、雇用形態の多様化などに伴い、安全衛生教育、リスクアセスメント、危険予知活動などの安全衛生活動の低下が懸念されています。

また、職場におけるメンタルヘルス不調や過重労働、化学物質を原因とする健康障害といった課題に対しては、ス

トレスチェック制度や化学物質のリスクアセスメントを確実に実施するとともに、その効果的な活用が重要です。

このような状況のもと、労働災害などの悩み相談ダイヤルを開設し(労働災害、メンタルヘルス、石綿、職業病)、又、事業場における衛生管理を適切に進めていくためには、事業場における衛生管理スタッフが作業環境管理、作業管理、健康管理等の衛生管理に関する十分な知識を有していることが不可欠です。

当センターでは、事業主による自主的な労働災害防止活動へのサポートを通じて安全衛生水準の向上に寄与するため、「人財育成」「技術サービス」「情報発信」の側面から各種事業を積極的に展開しております。

企業内の衛生管理者育成を目的に、昨年も「安全・衛生管理者」第18期養成講座を実施し「第一種衛生管理者国家試験」に対し素晴らしい成果を残しました。

本年も、労働者の安全と健康を守るため当センターの業務運営に對しまして、益々のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつとさせて頂きます。

〈2017年度役員〉

役職名	氏名
理事長	新居 良雄
副理事長	島 和久
〃	大谷 竹人
〃	鎌谷 浩司
〃	吉野 泰甲
専務理事	田北 光広
理事	原田 俊彦
〃	矢鳴 浩一
〃	林 善章
〃	田村 敬一
〃	広田 拓也
〃	下 則子
〃	川口 誠二
〃	井内 猛
〃	小谷 正勝
〃	亀田 真
監事	後藤 和昭
〃	岩生 大治

一般社団法人 德島県就職支援機構



新年のご挨拶

一般社団法人 德島県就職支援機構
理事長 辻 博 史

新年明けましておめでとうございます。

日頃は、「一般社団法人徳島県就職支援機構」に対して、ご協力とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

振り返ってみれば、個人的なことになりますが、事業団体は異なれど労働者福祉事業に携わって、40数年がたちます。ここ10年ぐらいは、①中央労福協の笠森元会長、②田辺鳴門市賀川豊彦記念館前館長の警咳に接し非常に実り多き時間を過ごさせていただきました。その格言に基づきますと次のようになります。味わい深いものでのご紹介をします。①「同質の協力は和(足し算)にしかな

りませんが、異質の協力は積(掛け算)」となって、測り知れないパワーを發揮します。②田辺先生からは「古人の跡を求めず、古人の求めたるところを求めよ」。昔の偉人たちが、何をしたかという結果ではなく、何をしようとしたかを見極めなさいとの松尾芭蕉の言葉を教わりました。

さて、「格差と貧困」・「平和と民主主義」の危機が続いていると言われています。

こうしたなかで、上記の格言を思いながら行動していくたいと思います。

求職者雇用支援事業においても、受講者の応募状況が引き続き減少傾向にあります。

今年は事業を推進とともに大胆な見直しを行いますのでご支援をお願い申し上げます。

〈2017年度役員〉

役職名	氏名
理事長	辻 博史
理事	久 積 育郎
〃	川 越 敏 良
〃	中 村 昌 宏
監事	枋 谷 旭

NPO法人壮生



新年のごあいさつ

NPO法人壮生

理事長 中村昌宏

新年 あけましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまして、幸多き輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

ところで、わが国の重要課題は急速に進行する少子高齢化への対応であると思います。人口は全国では年間約30万人の減少となっており、徳島県では年間約6千人減っております。一方、平均寿命は男性が80歳に達し、男女ともに香港に次ぐ長寿国となっています。労働力人口の減少は恒常的な人手不足状態となり、有効求人倍率は上昇しているものの、給与水準の改善に結びつかず、格差は一層拡大しております。また総務省の調査によりますと人口減少下にあって、世帯数は微増し続けています。一見、良好なことのように映りますが、実態は一人暮らし世帯が約35%を占め、とりわけ高齢者の一人世帯が急増してきております。

地域ライフサポートセンター

徳島中央ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、徳島中央ライフサポートセンターの諸事業に格段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターは、地域の方々をサポートする地域福祉の拠点として、関係団体とのネットワークにより「暮らしなんでも無料相談」、日々の暮らしに役立つ情報の提供など地域の方々や労働者の福祉向上を目指した様々な事業を行い、県民の皆様の生活をサポートしています。

昨年の活動としては、恒例となりました「キウイ収穫体験祭り」を11月に佐那河内村の果樹オーナー園で行いました。当日は、前日から雨が降り続き早朝は大雨模様でしたが、幸いにも開催時刻には雨も上がり、多くの方がキウイ収穫を体験し、キウイの試食や抽選会を楽しみました。

また、毎日のように新聞・テレビ等で報道され、2016年の被害額が全国で14,151件、約406.3億円、徳島県で58件、約1.6億円と深刻な状況にある振り込み詐欺等の「特殊詐欺」、特に最近では、還付金詐欺が増加しており、中でも高齢の方が被害に遭うケースが多くなっていることから、「特殊詐欺に遭わないように」、「運悪く被害に遭った場合にどうすればいいのか?」など、弁護士と一緒に撃退法、被害に遭った時の対処法等についての術を勉強す

こうした社会情勢を直視し、私たち壮生では「老いてますます壮ん」を合い言葉として、一人暮らしシニアの健康、就労、生きがい、居場所づくりといった重要な課題に向けての取組を行っております。昨年7月にはこれからの共生社会を展望し、暮らしのサービスを希望する会員とサービスを提供する会員とのマッチングを行う「サポート壮生」をスタートさせました。その他の会員向け事業といたしましては、シニアが集う交流の場としての「シニアカフェグランマ」、偶数月に開催している「折り紙教室」、週2回開いている「パソコンサークル」等を実施しております。更に活動を活発にしていくためにも、多くの皆様方の入会をお待ちしております。併せて、今後のご指導とご協力をお願いいたします。

<2017年度役員>

役職名	氏名
理事長	中村昌宏
副理事長	前田すづ子
専務理事	元川仁
理事	久積育郎
〃	國見聖
〃	樋原資訓
〃	辻博史
〃	井上みち代
〃	村田知江美
〃	佐伯雅子
監事	清田敏弘
〃	坂尾直也

る講演会「特殊詐欺?まさか、私が!」を開催しました。

講師の話から、「対策法として ◎一人で悩まない ◎相談する」とアドバイスがありました。

更に、平和や人権問題、国際交流にも積極的に取り組んだところです。

本年も、地域住民との結びつきを強め、地域から期待される「ワンストップサービス」機能の充実に努めてまいりますので、格別のご支援、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

<徳島中央ライフサポートセンター役員>

役職名	氏名	所属団体
会長	宮本武司	徳島地域代表
副会長	遠藤好人	四国労金徳島営業本部
〃	豊田浩	全労済徳島推進本部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	杉本友好	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	松本光弘	徳島地域代表
〃	藤崎夏男	北部地域代表
〃	尾田賢治	中部地域代表
事務局長	板東喜代子	専従
理事	山本真史	四国労金徳島北支店
〃	西英二	四国労金鴨島支店
〃	鴻池達也	徳島地域代表
〃	遠藤弘也	北部地域代表
〃	青山広樹	徳島地域代表
〃	加美大輔	中部地域代表
〃	元川仁	NPO法人壮生
監事	谷本智	徳島地域代表
〃	大平和広	北部地域代表

徳島西部ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は徳島西部ライフサポートセンターの活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

当センターでは、働く者の環境や雇用を守り、生活に安心を取り戻す取組みが重要と考え、幅広い勤労者層と地域社会に根ざす「労働と生活」をサポートする運動体として様々な活動を展開しています。

昨年も生活困窮者支援事業として、つるぎ町と東みよし町の就労支援活動に取り組みました。多方面の機関と連携し、就労準備の情報の共有化を図りました。他にも、法律相談やニート相談等の相談業務、スポーツ少年団支援や着ぐるみ貸出事業、エコ活動等も実施しました。

7月23日には、夏の恒例行事である「夏休みフェスティバル」を開催しました。657名が集い、アメゴのつかみ取りや抽選会を行いました。自然と触れ合い、親子や家族で夏の思い出を作っていただけたと思います。

また、11月12日には県民と働く者のとくしまフェスタ2017の一環として「ゆとり・癒しのウォーキング～紅葉と温泉の祖谷渓谷～」を行いました。ちょうど紅葉の見頃で天気も良く、99名の参加がありました。ウォーキン

グ後はかずら橋や温泉、モノライダーを楽しみ、秋の祖谷を満喫していただきました。

このようにライフサポート事業を勤労者や地域に根ざした顔の見える運動として行っていきたいと考えています。今年も引き続き、皆様のより一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島西部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	職場
会長	大西茂	三好市職員労働組合連合会
副会長	小谷博文	四国労働金庫池田支店長
〃	豊田浩	全労済徳島推進本部専務執行役員
〃	秋山光夫	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
事務局長	薦泰見	連合徳島専従
理事	南馨	日本郵政グループ労働組合徳島西支部
〃	逸見秀夫	阿波みよし農協職員労働組合
〃	赤窄政治	四国交通労働組合
〃	山下芳和	四国電力労働組合池田支部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	田中俊行	徳島県病院局職員労働組合三好病院支部
〃	近藤誠志	徳島県職員労働組合三好支部
〃	三木玲子	徳島県職員労働組合美馬支部
〃	仲正敏	美馬市職員労働組合連合会
〃	武田憲明	つるぎ町職員労働組合
〃	細田博樹	三好市職員労働組合連合会
〃	三好芳和	東みよし町職員労働組合
〃	矢藤寿浩	パナソニックヘルスケア労働組合四国支部
監事	満寿川誠	美馬農協職員労働組合
〃	岡田貴明	四国労働金庫労働組合徳島県支部池田分会

徳島南部ライフサポートセンター

新年あけましておめでとうございます。

昨年は徳島南部ライフサポートセンターの諸事業に対しまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今、私たちの生活をとりまく情勢は大変厳しく、1強の政治といわれるなかで、強い者だけが益々豊かになっていく弱肉強食の社会が一方的に押し進められている感があります。取り残された弱者は、将来への不安に苛まれるばかりです。

貧困児童、ワーキングプア、下流老人などという言葉がとびかう今日、政策・制度の狭間で苦しむ弱者の方々などを目の当たりにし、任務の一層の重要性と同時にその困難性を痛感する毎日です。

私たちは本年も微力ながら「生きがい・やりがい・働きがいを求める人たちの為に、色々な角度や形でのサポートに努める」ことが任務であるとの認識を、より一層強く持ちながら、「なんでも相談」や「運転免許特別講座」「パソコン教室」などの講座のサポート、各種イベントの開催との協賛、エコ運動の推進など

の活動を、地域の方々や労働福祉団体、N P O、社会的資源などと連携しながら進めていきたいと考えます。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

＜徳島南部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	所属団体
会長	松本佳彦	自治労阿南市職労連
副会長	宮田義文	J P 労組徳島南支部
〃	加藤憲司	新日本電工労組徳島支部
〃	森口芳洋	フレッセ阿南支部
〃	今治五百百合	四国労働金庫阿南支店
〃	豊田浩	全労済徳島推進本部
〃	川原佳子	徳島県勤労者福祉ネットワーク
事務局長	山本日出夫	専従
理事	谷本修司	倉敷紡績労組徳島支部
〃	長尾真司	四国電労阿南火力支部
〃	葉田博章	紙バ連合王子新富岡支部
〃	前田淳	自治労阿南市職労連
〃	新田洋二	自治労那賀町職
〃	久保隆弘	自治労牟岐町職
〃	丸岡義謙	全国一般柏溝会支部
〃	遠藤伸輔	阿南農協労組
監事	清水昇	自治労徳島県職
〃	篠原裕助	新日本電工労組徳島支部
書記	生原ひろみ	専従

新春お年玉プレゼント!!

問題 カズオ・イシロ

2017年にノーベル文学賞を受賞した長崎県出身の日系イギリス人小説家は？(○に当てはまるカタカナ1文字をお答えください)

正解者の中から
抽選で30名様に

図書券(1,000円)を
プレゼントします。

応募方法 官製ハガキまたはFAX用紙に解答を書いて、下記あて先まで送付して下さい。その際、住所、氏名を必ずお書き下さい。

応募締切日 2018年1月末日

送付先 〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
(公社)徳島県労働者福祉協議会
お年玉プレゼント係 FAX 088-625-5113

※記入された個人情報等はプレゼント発送以外の目的ではありません。

ZENROSAI NEWS

最大22等級・64%割引!

安全運転を続けられた方に
有利な等級制度があります。

団体掛金適用!
所属の団体を通じて
ご加入いただくと、
団体掛金が適用されます。

カンタン!無料! お見積もり
お手元に**保険証券(共済証書)**と**車検証のコピー**をご用意のうえ、
所属の団体または全労済までお問い合わせください。

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。
ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」をかならずご覧ください。

もしものトラブルもしっかりサポート!

例えば 24時間365日受付 マイカー共済ロードサービス

- 自走不能の場合の レッカーケン引または 積載車による搬送
- 現地にて実施可能な 30分以内の路上 クイックサービス
- 燃料切れ時 ガソリン等 お届けサービス

さまざまな特約・割引でおトク!

例えば 運転者本人・配偶者 限定特約

- 7%割引!
- ハイブリッド車割引
- セカンドカー割引

7%割引!

2台目以降は
7等級から開始!

全労済のマイカー共済
自動車総合補償共済

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。

新しく組合員になられる方へ(出資金について) 全労済は消費生活協同組合法にもとづき、非営利で共済事業を営む生活協同組合です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければどなたでも都道府県公認の組合員となることができます。新しく組合員となる方には、生活協同組合運営のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じて次のとおりお願いしています。【掛け金の払込方法】月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヶ月)、半年払いの場合:1,000円(1回500円×2回)、年払いの場合:1,000円(1回のみ)※マイカー共済のみ、月払い・年払いの場合ともに1,000円(1回のみ)

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこえる充分な積立を立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これらも引き続き健全な経営に努めいくとともに、情報開示を積極的に行ってています。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりのお客さまに関する情報について厳密性・機密性・安全性の確実に努めています(詳しくは各都道府県の全労済にお問い合わせください)。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 公益社団法人 **徳島県労働者福祉協議会**

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島内)
TEL (088) 625-8387 · FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川越 敏良
印 刷 者 (有)フォトプリント白石